

平成29年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立四箇郷小学校
作成日	平成30年2月26日

1 教育目標

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子どもを育てる

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの更新は、今後も続けてほしい。 ○お食事会以外に地域との交流があればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育は大切であるので、今後もきちんと取り組んでもらいたい。 ○子供が読書に親しんでいる姿が目に見えてわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力調査についての情報は、今後も保護者に知らせるべきであろう。 ○学校とともに、保護者の価値観や意識の変革も必要と考える。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○開放月間中であっても、行事のないときに行くのは気が引ける。 ○連絡事項とともに、学年・クラスの様子や子供のことが書かれたお便りがあればよい。 ○近隣の小学校では、地域と児童との交流が別の形で行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書室の運営について、来年もこのような体制で続けてほしい。 ○あいさつは大切なので、地域の者として積極的に行っている。 ○保護者アンケートで、いじめに関する回答結果が気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語の時間が増えるが、ALTが来校する日が増えるのか。 ○プログラミング教育とは、具体的にどういった内容なのか。 ○宿題の内容がこれまでとちがいが、記述することが多くなった。また、テスト勉強も進んでいる。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○行事の際、わが子の発表だけを見て帰る保護者が多い。 ○毎月開催されている「お食事会」への児童の参加が、ずっと続けられていることは喜ばしい。 ○児童から見守り活動に対するお礼の手紙をもらい、大変うれしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供の中に、「おかえり」と言っても返事がない子も見られる。 ○保護者の回答で「わからない」が多いのは、いじめに対する学校の取り組みに否定的ではなく、具体的にわかっていないからではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読書活動と国語科の取り組みは大切である。 ○四箇郷の子供の教育を、不易と流行の観点でも進めてほしい。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ○開放月間時、平日でも来校しやすい手立てを講じる必要がある。 ○児童や保護者の様子や状況を、学校と地域が共有する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ運動や見守り活動は、地域の者とともに保護者の積極的な参加があればよい。 ○いじめとともに、不登校や虐待についても今後も継続的に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数値に表れるまでは簡単にはいかないが、今後も学力向上について粘り強く取り組んでほしい。

3 その他のご意見

目に見えない、または表には出ないような虐待（ネグレクトに近いような事案）について、地域と学校が情報を共有しなければならない。